すいた社協だより

発行・編集 / 社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会

2021.9 VOL.124

1　面：生活・福祉の相談員「CSW」
2・3面：CSWの活動
4　面：吹田市社協からのお知らせ

吹田市社協　検索

吹田市社会福祉協議会に設置されているCSW(コミュニティソーシャルワーカー)は
地区福祉委員会をはじめ様々な団体と一緒に
悩みを抱える方の困りごとに寄り添い、暮らしを支える
つながりづくり、地域づくりを進めています。

CSW(コミュニティソーシャルワーカー)とは?

「誰もが安心して暮らせる住みよいまちづくり」のために地域に出向き、地域のみなさんと一緒に**「ふ」**だんの**「く」**らしの**「し」**あわせを考える**「生活・福祉の相談員」**です。吹田市社協では、平成18年度より吹田市の委託を受けて13名配置しています。

問い合わせ・地域福祉課　TEL:06-6339-1254　E-mail:suisyakyo@mua.biglobe.ne.jp

すいた社協だよりは、自治会はじめ地域諸団体の協力を得て配布いただいています。

地域のみなさんと「福祉」のまちづくりをすすめています

CSWは、地区福祉委員会や地域の「福祉」に取り組む団体・機関等と一緒に、みなさんの「福祉」を支える仕組みを考え、カタチにしています。

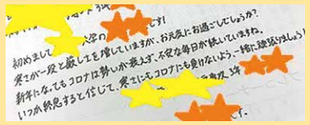
また、地区福祉委員会が取り組む「子育てサロン」や「いきいきサロン」、「ふれあい昼食会」等に参加し、地域のみなさんと日頃から顔を合わせ、地域から聞こえてくる声やちょっとした変化に寄り添い、「福祉」のまちづくりを進めています。

コロナ禍では、人とふれあうサロン活動や昼食会の開催が困難になりました。しかし、「何かできることはないか」と地域のみなさんの想いに寄り添い、一緒に考えてできることをカタチにしてきました。

ひとり暮らし高齢者の外出の機会を創出し、安否を確認することを目的として、地区福祉委員会がお弁当などを配布する「ふれあい外出配食」の実施をサポートしました。

外出自粛中の高齢者や子育て世代向けに体操や親子遊びの動画「きららとあそぼ!」「みんなとあそぼ!」を福祉施設と連携して作成しました。

「地域のために何か取り組みたい」という大学生の思いを受け、地区福祉委員会と共に、想いのこもった通信を高齢者に届ける活動をサポートしました。



私たちの悩みを本当に親身になって聴いてくれたり、アドバイスをくれたり、とてもありがたい存在です。気さくに相談できるし、話しやすいです。

地区福祉委員

令和3年度 担当

JR以南ブロック	豊津・江坂・南吹田ブロック	片山・岸部ブロック
地区：吹一・吹三・吹六・東	地区：吹二・吹南・豊一・豊津西	地区：片山・山手・千一・岸部
担当：玉山・馬場	担当：大谷・坂上	担当：山本・斉藤

千里山・佐井寺ブロック	山田・千里丘ブロック	千里ニュータウンブロック
地区：千二・佐井寺・千三 千里新田	地区：五月が丘・山一・山二・山三・山五 北山田・西山田・南山田・東山田	地区：佐竹台・高野台・桃山台・竹見台 津雲台・古江台・藤白台・青山台
担当：長谷川・爲則	担当：中野・北	担当：佐本・山田・西村

生活・福祉の困りごとへの相談を受けています

普段の生活での悩みや困りごとの相談にも対応しています。(秘密厳守)

地域の身近な場所で地域住民の困りごとを受け止めてくれる地区福祉委員会や民生児童委員、そして専門機関と協力しながら、地域の活動場所の紹介や必要なサービス利用のサポートなど、みなさんの「福祉」を支えます。

最近では、新型コロナウイルスの影響による生活費の相談や、ひきこもりについての相談などが増えてきています。相談者は、高齢者や障がい者、子育て世帯、就労中の方などさまざまです。

●このような相談がありました

「福祉サービスを使いたいが、どこに相談すればよいかわからない」
「自分の住んでいる近くで気軽に集える場所はないか?」
「仕事につきたいが長続きしない」
「引きこもりがちな家族がいて心配だ」

地域とのつながりがあるCSWと連携することで、情報共有や役割分担をしながら、課題解決の支援ができるのが心強いです。

専門機関の職員

市内の小中学校での「福祉」教育に取り組んでいます

吹田市内の小中学校に出向き、生徒たちと障がい者や高齢者の疑似体験などを通して、他者を思いやる心を育む取り組みをしています。地区福祉委員会をはじめとするボランティアや当事者にも協力をいただき、地域の中で声を掛け合える、助け合える関係づくりにつながるよう取り組んでいます。

※令和元年度は小中学校から依頼を受けて延べ9,403人の児童生徒が参加し、延べ614人のボランティアに協力いただきました。

吹田の地域「福祉」を支えるネットワーク

CSWは地域のみなさんが笑顔で安心して暮らせるまちづくりのため、さまざまな団体とのネットワークを大切にしています。吹田の福祉活動に関心のある方、生活や福祉に関する困りごとがある方、ぜひ私たちにご相談ください。

吹田市社協からのお知らせ

〒564-0072　吹田市出口町19-2総合福祉会館2階

●総務課　TEL06-6339-1205
●地域福祉課　TEL06-6339-1254
●ボランティアセンター　TEL06-6339-1210
●日常生活自立支援係　TEL06-6339-5700
FAX……06-6170-5800(共通)
E-mail…suisyakyo@mua.biglobe.ne.jp

令和2年度 事業報告

住民同士のつながりを途切れさせないよう様々な団体等と連携し、地域福祉活動の継続に取り組んだ1年でした。

- 新型コロナウイルスの影響で、ひとり暮らし高齢者が孤立しないよう、地区福祉委員会が外出や交流の機会として地域拠点でお弁当などを配布する「ふれあい外出配食」を新たに取り組みました。また、地域の諸団体と高齢者等を対象に見守り声かけ活動を積極的に行いました。
- 施設連絡会協力のもと、ICTツールを活用し子育て支援や高齢者のフレイル予防の動画を配信しました。また、コロナ禍で困窮する大学生や外国籍の方等を対象とした食料支援にも取り組みました。
- CSWや生活支援コーディネーターが地区福祉委員会や大学生と連携し、高齢者との手紙交流等を行いました。ボランティアセンターでも、ZOOM体験講座を開催しました。
- 吹田市内の関係機関を対象に、権利擁護支援に関するアンケートを行い、権利擁護支援の現状と課題についての調査を実施しました。
- 新型コロナウイルスの影響による失業者や所得減少者を対象に、特例貸付が創設され、今年度は、昨年度の100倍を超える貸付の相談・申請がありました。生活困窮者自立支援事業でも住居確保給付金について、相談・申請件数が激増しました。

令和2年度 社会福祉事業会計決算概要
(資金収支計算書より)

収　入	金額(千円)
会費収入	11,405
寄付金収入	5,417
経常経費補助金収入	76,516
受託金収入	157,392
事業収入	9,621
受取利息配当金収入	7,326
その他収入	238
当期収入計①	267,915

支　出	金額(千円)
法人運営事業	200,379
ボランティア活動推進事業	468
小地域ネットワーク事業	18,651
善意銀行事業	3,900
共同募金配分金事業	4,428
日常生活自立支援事業	24,208
生活困窮者自立支援事業	14,160
福祉ボランティア基金事業	1,740
当期支出計②	267,934

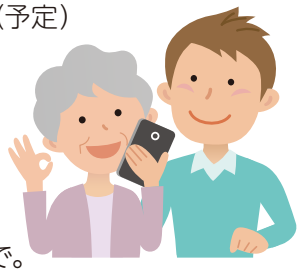
当期収支差額(①-②)　△19千円

赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします。

赤い羽根共同募金は、地域の福祉活動を応援するための募金です。今年度も10月1日から12月25日の期間で実施いたします。吹田市内でご協力いただいた募金は、各地区で福祉活動に取り組む地区福祉委員会や大阪府内の福祉施設・団体の活動等に役立てられています。

オンライン講座ボランティア募集!

高齢者のスマホデビューをサポートしてくれる学生さんを募集しています。



◆**期間**：令和3年11月末まで（予定）
◆**対象**：市内在住・在学の大学生や専門学生
◆**内容**：スマホやLINEの使い方のサポート
◆**申し込み期日**：令和3年10月31日（日）まで。QRコードより申し込みください。
（「参加したい活動」で「オンライン講座」をチェック）▶
※その他の活動もぜひご参加ください。
◆**問い合わせ**：地域福祉課

子育て仲間づくり情報きらきら　リニューアル!

地区福祉委員会が行う子育てサロンをはじめ、サークルや広場の情報をホームページで公開しています。QRコードからアクセスし、バナーをクリック!▶

第9回 子育て支援傾聴ボランティア養成講座

子育て中のお母さんを対象に、やさしく相手に寄り添ってお話を聴くボランティア活動をしてみませんか?

◆**日時**：10月18日（月）・25日（月）
11月１日（月）・５日（金）・12日（金）
いずれも10時10分から12時
◆**会場**：夢つながり未来館 4階
◆**受講費**：2,000円
（10月18日初日にご持参ください）
◆**定員**：20名
◆**申し込み**：9月13日（月）～10月8日（金）
土日祝は休み
◆**問い合わせ**：ボランティアセンター

※新型コロナウイルスの影響により、中止することがあります。

プルタブありがとう!

令和3年7月現在
約2.4kg集まりました。